



「第二日」一〇七四年 東京藝術大学蔵

講演会

●1987●9月19日(土)12:00PM
杉全直氏

TADASHI SUGIMATA
EXPOSITION

●1987●9月11日(金)〜10月7日(水)

前期●9月11日(金)〜9月23日(水・祝)
後期●9月25日(金)〜10月7日(水)

●開館時間 10:00AM〜6:30PM(入館は6:00PMまで)
●休館日 毎週木曜日
●入場料 一般400円 | 高・大生200円 | 小・中生100円
(300円) | (150円)
| (1)19歳以下以上の団体料金

●主催 ●会場 | 物品川文化振興事業団 ●美術館

○美術館

才一美術館 ●山手線大崎駅東口下車徒歩1分
[東京都品川区大崎1-6-2大崎二ツ子2号館2階・TEL495-4040]

杉全直展

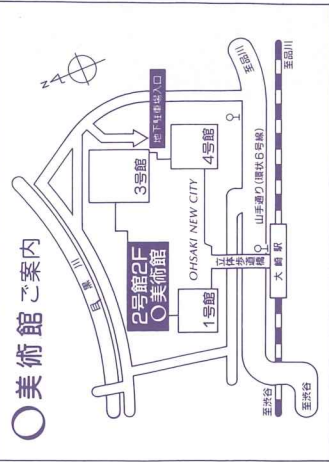
TADASHI SUGIMATA EXPOSITION

戦前から現在にいたるまで、日本前衛美術界をたえず自己革新を自らに課しながら歩んできた、杉全直氏の初の本格的な回顧展を行います。

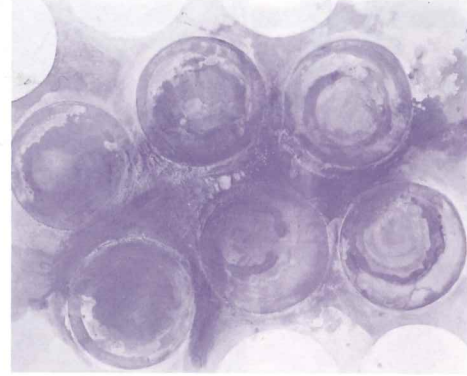
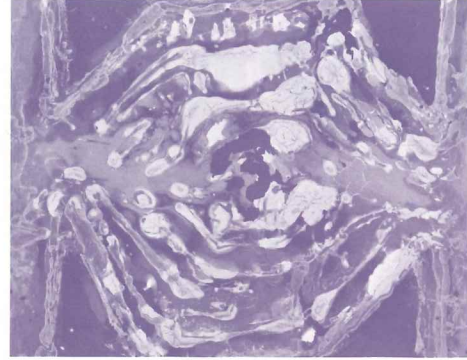
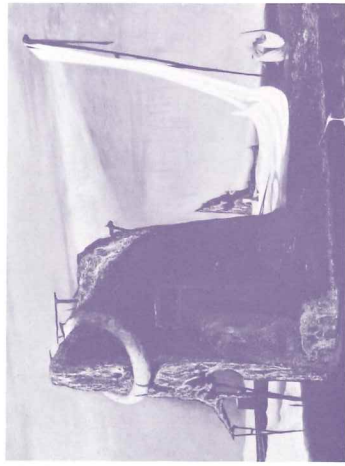
杉全氏は品川区大井町に生まれ、同地と姫路において多感な幼少年期を過ごしました。学生時代からシュールレアリスムの手法を使った独自の世界を開拓した氏は、戦中・戦後にかけての困難な時代において「濁れた泉」「赤い蛇」など、社会を内面からとらえた秀作を生んでいます。

その後は、アンフォルメルルの時期を経て、しだいに六角形の図形を構成の主体とした「きっこう」シリーズで独自の表現をつかみ、一時期を画しました。さらに70年代には立体造形にとりくみ、ふたたび80年代に平面に戻り、現在も新たな試みを続けておられます。

本展は杉全氏の戦前・戦後の美術史に果たしてこられた役割を重んじ、初期から最新作にいたる油彩等60余点で杉全芸術を再認識しようとするものです。



- 交通
山手線大崎駅(東口)下車徒歩1分
東急バス(大井町駅→波谷駅)大崎駅下車徒歩1分
- 駐車場
美術館専用駐車場はございません。
お里でご来館の場合、「大崎ニューシティ」地下2Fの駐車場(有料)をご利用下さい。



●「航行」1938年頃
姫路市立美術館蔵

●「濁れた泉」1944年頃
東京都美術館蔵

●「眼」1960年

●「きっこう」1962年
兵庫県立近代美術館蔵

●「作品3」1987年

(財)品川文化振興事業団

○美術館